

南関町教育長だより

道

第14号 R7.3.31



春休み中、エネルギーを蓄えR7へスタートダッシュ！

令和六年度が終了します。

教育長に就任し一年が経ちました。あつという間に過ぎた一年でした。この間に何を成しえたか、振り返っているところです。南関町の教育行政に携わり、初めて経験することばかりでした。一つ一つ丁寧に対応することを心がけてきましたが、十分ではないものもあつたのではないかと思います。教育長だよりの第一号で私の使命は、「南関町の教育が進むべき道」を考えることだと述べました。現在、南関町の教育は主に次のような課題があります。

- ① 児童数の減少による学校のあり方を検討すること
- ② 子どもたちの学力を向上させること
- ③ いじめの根絶・不登校の解消に向け取組強化
- ④ 新図書館の移転と運用の開始
- ⑤ 運動公園の改修整備
- ⑥ 白秋生家の保存整備と活用すること

それぞれの課題について、町民の皆さまのご意見を聞き、関係の方々と話し合いながら方向性を探ってきたところです。まだ、形としてはつきりと現れたものはありませんが、七年度以降お示しできるものが見えてくるかと思っています。この一年、子どもたちに元気をもらい、町民の方々からの励ましに背中を押していただきやってきました。ありがとうございました。令和七年度、腰を据えて頑張ります。

今日の論語

子曰わく、「^{あやま}過ちて^{あらだ}改めざる、^{これ}是を過ちと謂う。」と。

先生（孔子）は言われた、

「まちがったと気付いているのに、それをそのままにして直そうとしないことが、本当のまちがいである。」と。

私たちは、生きていく中で失敗したり人に迷惑をかけたたりすることがあります。その時に、自分で気付いたり、周りの人から注意を受けたりすることがあるでしょう。そのことを素直に受け止めて、直していききたいものです。

めざせ！ 第二の北原白秋 「創作童話コンクール」

先日、家庭での読み聞かせの会より創作童話コンクール入選作品集をいただきました。さっそく目を通させていただきました。子どもたちから大人の方までの作品が掲載され、楽しさとロマンとファンタジーの世界へ引き込まれました。また、命の大切さを考えさせる作品もありました。ぜひ、手にされてみてください。町の図書館にいただいておりますので、そちらでご覧いただけます。

南関町は北原白秋の生家の町です。幼少期の白秋は、生家でたくさんの書物に触れ文学への才能を開花させていきました。「言葉の魔術師」と呼ばれた白秋のように言葉への感性を磨き、白秋に続く子どもたちが現れたらうれしいものです。皆さん、創作童話にチャレンジしてみませんか。

今年は暖くなるのが遅く、花の時期が一気にやってきた感じがします。梅、水仙、レンギョウ、桜、菜の花と咲き乱れています。華やかな季節です。この季節をゆっくり楽しみたいのですが、すでに夏の便りもきこえますが・・・。

